



各自好きなポーズで記念撮影

**異文化を町内で体験
参加児童の成長体験**

町内で異文化に触れられると昨年好評を博した「ふくちグローバルキャンプ」が、8月23日にコスモス保健センターで開かれました。世界各国の異文化を体験・学習できるこのイベントに、町内の小学4～6年生の30人が参加。タイ総領事館やタイ国政府観光庁、立命館アジア太平洋大学の留学生、ボランティア団体・F1WC九州の学生による特別なワークショップが行われました。最初は緊張していた子どもたち。終盤には、笑顔で留学生と話したり、自分の意見を発表するなど、大きく成長した姿をみせていました。

Global Education 2 /

FUKUCHI GLOBAL camp

ふくちグローバルキャンプ2023



内容 3 各国のBBQ & 料理を堪能

屋外で各班に分かれ、留学生主導で自国のBBQを調理。合間に味見したり、焼マシュマロを作って食べながら、全員の夕食を完成させました。室内に戻った後、時間を区切り、入れ替わりながら留学生と会食した子どもたち。「食」や「味」の違いを通して異文化を体験していました。



内容 2 留学生7人が国や文化を紹介

大分県にある立命館アジア太平洋大学の留学生7人が、自己紹介を兼ねて出身国(バングラデシュ、ミャンマー、ベトナム、フィリピン、メキシコ、ガンビア)について説明。子どもたちは、日本との違いを目を輝かせながら聞いた後、全員参加によるアイスブレイクで親睦を深めました。

内容 1 タイの文化や伝統工芸を体験

在福岡タイ総領事館のケムルタイ領事(写真中央右)からタイの概要と文化について説明を受けた後、タイ国政府観光庁・福岡事務所によるワークショップを体験した子どもたち。タイの皆さんや留学生、F1WC九州の大学生に教わりながら健康祈願の伝統工芸「プラータピアン」を作りました。



内容 4 キャンドルナイトと意見交換

キャンドルを囲んでレクリエーション「泥棒と警察」を楽しんだ参加者たち。その後は各班でイベントの感想を言い合い、代表者が全員の前で発表して全プログラムを締めくくりました。子どもたちと留学生、大学生は、名残惜しそうに挨拶を交わしながら、再会を誓っていました。



参加した子どもたちの声

Group F

金田義務(前期)4年生
ひろさわ のん
廣澤 音 さん

留学生と一緒にBBQを食べたり、ダンスゲームをしたことがとても楽しかったです。また、このようなイベントがあれば、参加してみたいと思います。

Group E

弁城小6年生
ひさみ さき
久富 咲希 さん

元々「美容師」が将来の夢でしたが、今回のイベントに参加して「CA」になりたいと感じるようになりました。たくさん勉強して夢を叶えたいです。

Group D

弁城小4年生
ふくしま みなと
福島 湊斗 くん

将来行ってみたい国が8カ国もあるので、今回たくさんの留学生たちとお話して、海外のことを知ることができ、とてもうれしかったです。

Group C

上野小6年生
よとき しどう
十時 清道 くん

世界のBBQを食べることができ、とてもうれしかったです。来年受験する「英検3級」の合格に向け、さらに英語の勉強を頑張ろうと思います。

Group B

伊方小5年生
やました はるま
山下 暖真 くん

夕食を食べながら、留学生とお話したことが印象に残っています。将来インドを旅行してみたいので、英語とヒンディー語の習得に向けて頑張ります。

Group A

金田義務(前期)5年生
わかえ みき
若江 美希 さん

留学生との会話は、翻訳アプリを使って行いました。将来は自分の言葉で会話できるように、一生懸命英語の勉強に取り組みたいと思います。